

岐阜県病院協会へ「医療用マスク」1万2千枚を寄贈しました

当行は、4月15日（水）、新型コロナウイルス感染拡大による医療機関でのマスク不足解消に役立てていただくため、一般社団法人 岐阜県病院協会に医療用マスク（N95微粒子用マスク）1万2千枚を寄贈しました。

当行は、2009年に新型インフルエンザが流行した際に、従業員の安全と福利厚生のために、当該マスクを備蓄しておりました。かかるなか、4月10日（金）に発出された岐阜県（古田知事）の「新型コロナウイルス感染症 非常事態宣言」にある『すべての県民の皆さまとともに、「オール岐阜」でこの「非常事態」総合対策を実施することが不可欠である。』との言葉を重く受け止め、医療用マスクを供出させていただくこととしました。

岐阜県病院協会によると、医療用マスクは依然として不足しているとのことであり、当行は今回のマスクが医療機関の皆さまにとって一助になることを切に願っております。

なお、当行は岐阜県の要請に基づき、3月31日（火）に、新型コロナウイルスのPCR検査の検体輸送に使用するジュラルミンケース17個を貸与しております。

引き続き、新型コロナウイルスの感染防止、終息に向けて関係各所と連携するとともに、影響を受けられた方々をサポートしてまいります。



<中央写真>

右側：一般社団法人岐阜県病院協会 会長・代表理事 富田 栄一 様

左側：常務 秋葉和人